

2026

3

VOL.568

同友しずおか

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」
「企業も地域もよくなった！」

登録電気工事業者登録票	
登録番号	静岡県知事登録第30944号
登録の年月日	平成16年12月21日
氏名又は名称	山本電機株式会社
代表者の氏名	山本 坂衛
営業所の名称	山本電機株式会社
電気工事の種類	一般電気工作物
主任電気工事士の氏名	大澤 政敏

建設業の許可票	
代表者の氏名	山本電機株式会社
代表者の氏名	山本 坂衛
一般電気工事	許可年月日
一般電気工事	許可年月日
電気工事業	許可年月日



私の逸品

山本電機(株)

電機で夢をカタチに
社会を愉しく

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130



◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1089名

所属支部	氏名	社名・事業	紹介者
沼津	大石 湧斗	(株) Milestone AI、IT、システム開発、コンサル、保守、運用、HP制作、アプリ開発、ゲーム開発、SNS運用	石澤 浩一
沼津	永田 流聖	Car Coating Your Care 主に車の洗車、コーティング、ホームコーティング等	本間 優
沼津	野口 忠裕	(株) アンドパッケージ 包装資材の卸売とそれに付随するデザイン提案、加工食品の販売、箱詰め作業の受託	深澤 亮
沼津	松原 達佳	(有) ハラでん エコキュート設置工事・エアコン工事	本間 優
富士宮	西川 大樹	(株) 西川材木店 建築、土木用の材木、建材の販売	加瀬澤真吾

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。



電機で夢をカタチに 社会を愉しく

山本電機(株) (榛南支部)

代表取締役 森 一直氏



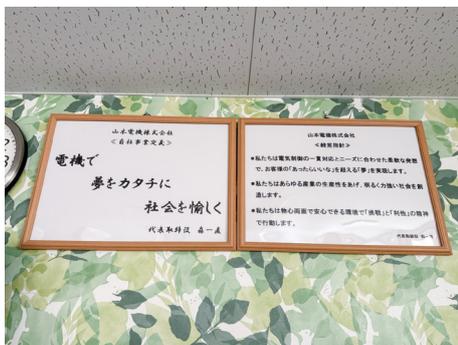
森 一直氏

今回の取材では、山本電機(株)が長年にわたり培ってきた制御技術の蓄積と、それを活かした幅広い事業展開についてお話を伺いました。

**「縁の下の力持ち」
製造業の現場を支える**

同社は、食品用包装機や医療用機械工作機械、茶刈機、塗装機など、多岐にわたる機械設備の制御盤製造を中心に、制御盤の設計・製作・設置、さらには工場ラインのメンテナンスまで一貫して対応しています。製造業の現場を支える「縁の下の力持ち」として、確かな存在感を放ちます。

同社の強みは、何よりも制御技術にあります。大型制御装置から小型・高精度制御装置まで設計開発・製造を長年手掛けて



経営指針

きた経験は、まさに技術の積み重ねそのものです。昨今では省力化や操作性向上が求められる中、タッチパネルを利用した扱いやすい制御装置の提供にも力を入れており、時代の変化を確実に捉えながら進化しています。

技術を活かしスマート農業にも注力

また近年、特に注力している分野がスマート農業です。農業用灌水装置の製造・販売にも取り組み、自動灌水システム「うるおい力持ち」「うるおいいーら」、養液管理装置「うるおいいミックス」など、現場の課題解決に直結する製品を展開しています。電気制御技術を活用し、農業と工業双方の省力化、高収益化に貢献しています。

顧客に寄り添い 「あったらいいな」を実現

お客様の「こんなものがあつたらいいな」を実現するために、同社では構想から設計、試作品の製造、生産までを自社内で完結できる体制を持っています。現場に足を運び、作業環境を実際に見ながら課題解決に取り組む姿勢は、顧客に寄り添う真摯な企業文化の表れです。また他社との次世代農業制御システムの共同開発に向けた連携など、



社屋外観

前触れもなく突然代表に就任となった森氏は、強いプレッシャーとコンプレックスを感じていたそうです。しかし、同友会の経営指針を創る会や全県経営フォーラム実行委員などに積極的に参加する中で、「経営者として目指すべき方向」が見えてきたと言います。

昨年、創業50年を迎えた山本電機(株)。制御技術という確かな軸を持ちながらも、農業分野へと果敢に挑戦し、地域と連携しながら未来を創る企業であると感じてきました。今後も同社が「あったらいいな」を超える「夢」を実現し、地域産業の発展に寄与していく姿が楽しみです。

取材・記事：中村秀和氏

(中村醤油(株)・榛南支部)

創業者の娘婿にあたる森一直氏は、山本坂衛氏(現会長・榛南支部10代目支部長)、そして森美和氏(取締役専務)から引き継ぐ形で2024年度に同友会に入会。入社後2年目に何の

同友会への参加で見えてきたもの

現場発の試作開発を積極的に
行っています。地域と共に歩み、
現場の声を製品へと反映してい
く姿勢こそが同社の持続的成長
を支える原動力となっています。

山本電機(株)

〒421-0403 牧之原市中582-1

TEL : 0548-28-6012

URL : <http://www.yamamoto-denki.jp>

創業 1975年

設立 1991年

社員数 29名 (パート含)

入会年月 2024年3月

事業内容 電気機械器具製造業 (制御盤設計、製造、修理)

「つくるにつくす」対話を大切にしている経営

(有)深沢製帆店
取締役 深沢 麻衣子氏 (静岡支部)



深沢 麻衣子氏

布を通して「お客様の大切を守る」

静岡市でテントシートの加工・製造を手がける(有)深沢製帆店。テントハウスやオーニング、トラッシュシート、間仕切りなど、暮らし

や産業の現場を支える製品を一貫体制で製作しています。素材の選定から裁断、縫製、ハトメ打ち、溶着までを社内で行い、多様な用途や環境に合わせた製品を形にしてみました。「布は、雨や日差し、ほこりから人や機械を守るもの。

でも私たちは「お客様の大切」を守る仕事だと思っています」深沢氏が掲げる言葉は「つくるにつくす」です。製作そのものだけでなく、打ち合わせ段階から丁寧にヒアリングを重ねる。何を守りたいのか、どんな現場で使われるのか、背景まで聴き取り、最適な仕様とともに考える。その粘り強い対話が、同社のものづくりを支えています。

現場と経営をつなぐ「ハブ」として

同社の強みは、顧客の「困った」を引き受けられる技術力です。特殊な寸法や用途、仕様にも柔軟に対応できる現場力があります。一方で、かつては現場と経営層の間で意図が十分に共有されない場面もあったといいます。深沢氏はその間に立つ「ハブ」として、両者をつなぐ役割を担ってきました。現場の声を経営に届け、経営の意図を現場に伝える。結論を急がず、対話を重ねながら内部の連携を整えていく姿勢は、外部との積極的な関係づくりと同じく、社内にも向けられています。家族経営の中での葛藤や役割の模索もありましたが、それでも話し合いを重ねる道を選び続けてきました。その粘りが、組織の土台を確かに強くしているのです。

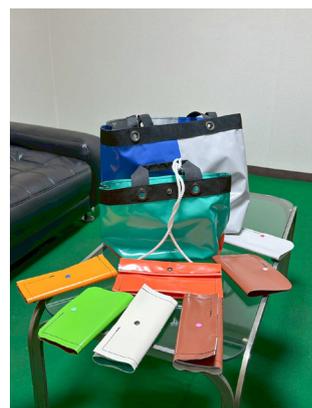
社内の誇りも育てる、地域への種まき

地域への「種まき」もその延長

線上にあります。小学生向けキャリア教育副教本「小学生のためのお仕事ノート」や中学生向けキャリア教育副読本「中学生のためのお仕事ブック」への掲載などのキャリア教育への協力、オープンファクトリー「フアクハク静岡工場博覧会」への参加など、ものづくりの現場を地域にひらき続けています。フアクハクでは、テントシートを使った靴づくり体験を実施しました。地域の方々が楽しむ姿も印象的でしたが、深沢氏の心に残ったのは社員の反応だったといいます。「今年はやらないのですか？」と声が上がったのです。自分たちの仕事が地域とつながり、喜ばれていることを実感できた瞬間でした。キャリア教育などを通じた地域との対話は、社外との信頼だけでなく、社内の誇りも育てています。

前に立つだけでなく、支える側として

同友会活動では女性部の取り組みに積極的に関わり、仲間を支える立場として奔走しています。前に立つだけでなく、後押しする側に回ることを厭わない姿勢は、自主・民主・連帯の精神を体現するものです。今年の兵庫で行われる全国大会「第29回女性経営者全国交流会」でも仲間の登壇を心から推す深沢氏らしさが社内からも感じられました。深沢氏から工場を案内して頂いたときの様子も、楽



テントシートを使った靴

しそつで仕事への誇りある姿勢を感じました。一枚の布を丁寧に仕立てるように、人と向き合い、語り合い、尽くす経営姿勢は、「対話を諦めない」という静かな強さに支えられています。その粘り強さこそが、信頼を縫い上げ、未来へとつなぐ力になっているのです。

取材：原稿：渡邊 且真氏 (株)協和・静岡支部
取材：鈴木 竜一氏 (有)ススキ工房・静岡支部

藤本 浩氏 (有)ススキ工房・静岡支部

取材：原稿：渡邊 且真氏 (株)協和・静岡支部

取材：鈴木 竜一氏 (有)ススキ工房・静岡支部

取材：原稿：渡邊 且真氏 (株)協和・静岡支部

(有)深沢製帆店

〒424-0037 静岡市清水区袖師町765-3

TEL：054-363-1101

URL：https://tentya3.com/

設立 1974年

社員数 18名

入会年月 2023年 2月

事業内容 テントの加工・製造業

会員訪問記

「職人」から「経営者」への脱皮

(株)NGM (なごみ・つむぎ整骨院)
統括院長 坂本 和彦氏 (御殿場支部)



坂本 和彦氏

「怪我を診るプロ」への歩みと「職人の勘」では越えられなかった経営の壁

坂本氏のキャリアの原点は、母校である御殿場西高校の空手道部にあります。当初は教員を志し免

許も取得しましたが、怪我によって志半ばで引退していく選手たちを目的の当たりにし、「怪我を未然に防ぎ、治せるプロになりたい」と一念発起し、柔道整復師の道へ進みました。2009年に「つむ



10代から80代までトレーニングをおこなう

ぎ整骨院」を実家で開業して以来その確かな腕と誠実な人柄が評判を呼び、広告を出さずとも口コミだけで患者やスタッフが集まるほど、地域からの厚い信頼を築いてきました。しかし、組織が拡大しスタッフが増えるにつれ、坂本氏は一つの大きな壁に直面します。「腕(技術)があればなんとかなる」という職人気質の信念だけでは、組織運営が立ち行かなくなってきました。当時はトップダウンの指示が中心で、お互いに見えない溝や不満を感じることが増え、その解決策が見出せず、経営者として常に「孤立」している感覚を抱えていました。法人化を志しながらも、収支の安定や社会保障の整備といった経営基盤の構築に踏み切れず、7年もの間、足踏みを続けていたのです。

「答え合わせ」がクリアになる

経営の正解を求めて独学を続ける中、紹介を通じて同友会の門を

叩いたことが、坂本氏にとっての大きな転換点となりました。同友会での学びは、それまで坂本氏が独りで模索してきた断片的な知識を、体系的な経営へと結びつける「答え合わせ」の連続でした。特に大きな衝撃を受けたのが「女性経営者全国交流会」への参加です。大規模な組織を率いる経営者が、社員一人ひとりの声を聞くために数ヶ月を費やしている姿勢を知り、「自分は社員のことを何も分かっていなかった」と猛省したといいます。「それまでは、言っただけのこと覚えていないスタッフに対して感情的になることもありました。しかし、同友会で明文化、すりガラス越しだった視界が、一気にクリアになる感覚を覚えました」。この意識変革により、主要スタッフの離脱という組織の危機も、丁寧なコミュニケーションとプロセスの再構築によって乗り越えることができました。その結果売上は過去最高を記録し、2026年1月、ついに念願の法人化を



グループトレーニングをおこなう器械

達成したのです。

地域と企業の健康を守る存在へ

経営者としての「自分」を確立した坂本氏の視線は、今、地域全体へと注がれています。従来のB to Cに加え、B to B企業の経営者や社員の健康をサポートする福利厚生サービスの展開を構想しています。また、御殿場市のスポーツ振興事業への参画や、名古屋大学との共同研究プロジェクトを通じて、データに基づいた健康促進に取り組んでいます。「怪我を診る職人」から、地域の健康を支える「経営者」へ。同友会という学びの場で得た確信を胸に、坂本氏と(株)NGMの挑戦は、これからも加速し続けます。

(株)NGM (なごみ・つむぎ整骨院)
〒412-0045 御殿場市川島田1158-53
TEL : 0550-78-6000
創業 2009年 4月
設立 2026年 1月
社員数 6名 (内: 鍼灸師1名 トレーナー2名)、パート8名
入会年月 2025年 6月
事業内容 柔道整復業 トレーナー業
大会整理 子供の体操教室

取材・記事: 片野貴一郎氏
(株)モスククリエイション・御殿場支部
取材: 土屋 信喜氏
(エーストラベル(株)・御殿場支部)

災害に備える！南海トラフ地震を想定し、今中小企業が備えるべきことは？ 「想像力の欠如に陥らない防災」へ 災害対応学習会

2月24日(火) 参加者・38名

疑問点などを活発に意見交換を行う時間となりました。最後に関那積氏(株中部特機設備/青年部会長)より総評があり「地震で身の回りに何が起ころか想定し、会社として何を守るべきか、何を最優先にすべきか考えていきたい。BCPも経営理念と同じで共有し社内に浸透させることが大事である。防災について考える機会としてこの学習会をぜひ継続していきたい」とまとめました。

自然災害が国内外の各地域で頻発する昨今、中小企業ができる災害対応について学ぶ学習会を企画。第一回目である今回は「南海トラフ地震」に着目し、静岡県庁で地震や火山などの防災部門を担当した経歴をもつ岩田孝仁氏(静岡大学防災総合センター/客員教授)を講師にお招きしました。

講演では、まず南海トラフ地震が起きた場合の被害想定について話があり、多くの製造業が集中する東海地区が大きな被害を受けることで日本経済がダウンする危険性があると話しました。現代は技術が発達し災害対策力は上がったが、人々の智慧(想像力)が低下し日常レベルを超えた自然災害に対応できなくなっていると「想像力の欠如」に危機感を示し、「普段使える道が倒壊物に塞がれて使えなくなるかもしれない」など日頃から様々な想定をしておくことが重要と話しました。有効な手段として、事務所や家の平面図レイアウトに家具など設置されているものを書き込み、地震の際にどんな危険があるか、具体的に何を対策すべきかを話し合う「DIG」の実践を勧めました。

企業経営の視点では、BCM(事業継続マネジメント)・BCP(事業継続計画)の両方が必要であり、災害が起きた時に何を優先するか(非常時優先業務)を洗い出し、誰が何をするか、またその人が不在の場合代わりに対応できる人は誰かという分担をしっかりとっておくことが重要だと話しました。最後にお願として、「避難場所の提供、資機材の提供、復旧活動など、企業は地域防災の貴重な拠り所だが、地域にとって企業の敷居は高いのが現状。ぜひ地域の防災活動に積極的に参加いただきたい」と参加者へ伝えました。

その後のグループ討論では、自社で出来ていることやこれから取り組みたいこと、



日常・経営の視点からBCM・BCPを学びあう

第18回ダイヤモンドカレッジ
「会社は一人では創れない」
2月20日(金) Clamping&Port結 18名



宮地氏

今回の報告者は(株)塚本製作所の宮地優子氏(志太支部)です。創業者である父(社長)、専務である父(社長)と一緒経営をしています。ご兄弟(弟)と一緒に経営をしています。会社は精密部品の金型の設計から製作まで行っています。報告では、「会社をもっと良くしたい」「会社はどこへ向かっていくのか。目標があれば変われるのではないか」という葛藤が痛いほど伝わってきました。同友会の経営指針を創る会で自分自身と向き合い、社長、専務、社員と向き合い、会社への熱い想いを語ってきた宮地氏。一人で考えるのではなく共に考え、「会社を守り、続けていく」「小さくても一流」を目指したいと決意したそうです。創る会は正解を見つげるための時間ではなく、本当の自分に出逢う時間だったと言います。グループ討論では、「一流の姿」について話をしました。技術だけではなく、行動、人間性、あいさつ、身だしなみを一流に磨くことが会社の目指すべき姿であり、ミスがあってもここに仕事をお願いしたいと思ってもらえる会社を目指したいと話がありました。結果ではなく、工程や過程を評価でき、社員が輝ける会社。わが社も「二流」を目指します。



縣あずさ氏

(株)山崎工業・沼津支部



講師の岩田孝仁氏

静岡労働局との意見交換会

よりよい労働環境づくりへ率直な意見を交わし連携を深める

2月20日(金) 同友会事務局会議室 13名

昨年度に続いて2回目となる静岡同友会と静岡労働局との意見交換会を開催しました。静岡同友会より正副代表理事と事務局で7名、静岡労働局より國分静岡労働局長をはじめ6名が参加しました。

初めに、箕成頼代表理事より「中小企業をとりまく雇用環境は大きく変化してきています。同友会では人を生かす経営を推進しており障害者雇用について学びあう委員

会もあります。本日は雇用を取り巻く環境について忘憚なく意見を交わす機会にしていきましょう」と挨拶しました。

続いて、國分静岡労働局長より「中小企業経営者の皆様は価格転嫁や人材確保に苦難されていると伺っています。労働行政としては、賃金引上げや労働者の安全確保、高齢者や女性の働きやすい環境づくりにむけた様々な支援策を用意しています。お互いの情報交換の場として有意義な意見交換会にしていきましょう」と挨拶がありました。

その後、同友会から提出した事前質問や参加会員からの質問・近況報告をもとに意見交換を実施。同友会からは障害者の委託訓練事業について実情に合わせた制度の見直しの要望や、残業規制がある中で副業を希望する社員に対しての実態把握や健康・安全管理の難しさ、外国人の活用について意見や質問が挙がりました。また労働局より、2026年に予定されている労働基準法の大改革について議論が進んでいることなどが共有されました。

最後に國分局長より「障害者の雇用・訓

よりよい労働環境づくりへむけて連携を深める



練、外国人雇用、残業規制など、中小企業のおかれている現状を聞かせて頂く貴重な機会になりました。運用や制度の在り方など頂いたご意見をふまえ、よりよい行政の運営につなげていきたいと思えます」と静岡同友会と静岡労働局の連携を更に深めていくことが確認され、閉会となりました。

※敬称略・2/20時点

静岡労働局	氏名
局長	國分 一行
総務部長	丸山 尚志
雇用環境・均等室長	田中 千晴
労働基準部長	神田 将伸
職業安定部長	西浦 希
雇用環境改善・均等推進監理官	小坂 光輝

第4回東海合同例会in岐阜 参加者感想
「過去は感謝、今は覚悟、未来は愛」
2月13日(金) ホテルグランヴェール岐阜 26名

小野寺敦嗣氏から「東海合同、座長をやりませんか?」と言われてから1年。当時は、超赤字を2期連続出し、社内の雰囲気も最悪、誰に相談してよいかもわからず、自分の命を断とうと思っていた、人生最悪の時でした。例会メンバーとの月1での関わり、自己開示、皆から頂いたアドバイスの実行。失敗の相談。実行、実行、実行：座長をひきうけてからの時間は私にとって一生涯の友との、かけがえのない時間になりました。会社、社員、家族、同友会仲間との関わり、そして何より、大嫌いだっただ父を、今では尊敬し抱きしめたくなるほど大好きになりました。会社の業績も今期は増収増益(黒字)、良好な人間関係も築けてきました。

勝俣智史氏(㈱フィットコーポレーション・御殿場支部)が登壇した第1分科会の座長として私が手にした気付きは、過去は【感謝と最善】、現在は【覚悟と実行】、未来は【引く勇気と愛】。覚悟とは自分との約束に対する指標(100%以外はない)。



報告者の勝俣氏(右)と座長の吉村氏(左)

次回は東海合同例会の実行委員長として、1人でも多くの方の学びの場創出に貢献していきます。

吉村隆氏
(南東海金属
富士宮支部)

3月16日(月)	県例会企画委員会主催 グループ長研修 (19:00 三島商工会議所)
17日(火)	県共育委員会 (18:30 ZOOM)
18日(水)	沼津例会 (19:00 沼津商工会議所)
19日(木)	富士例会 (19:00 ロゼシアター) 中遠例会 (19:00 SK駅前ホール)
23日(月)	県組織増強委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県にじいろ共生委員会主催 オープン勉強会 (19:00 同友会事務局会議室)
24日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 県広報情報化委員会 (19:00 ZOOM) 三島例会 (19:00 未定)
25日(水)	志太例会 (18:30 BiViキャン)
26日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
27日(金)	オリエンテーション (19:00 プラサヴェルデ)
30日(月)	中同協定時総会in静岡 実行委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM)

4月1日(水)	県共育委員会主催 合同入社式・若手社員研修～2日(木) (10:00 もくせい会館ほか)
2日(木)	県正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 富士宮支部合同入社式 (10:30 志ほ川バイパス店)
8日(水)	御殿場総会 (18:00 名鉄菜館)
9日(木)	伊東総会 (18:00 伊東ふれあいセンター) 浜松総会 (18:30 ローラン茶寮)
10日(金)	富士宮総会 (18:30 志ほ川バイパス店)
14日(火)	静岡総会 (18:30 ホテルグランヒルズ静岡)
15日(水)	志太総会 (18:30 小杉宛)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ

口座振替日/2026年4月6日(月)

振替会費/令和8年度上期会費(令和8年4月～令和8年9月)

振替額/県会費42,000円 ※休会者:県会費21,000円(支部費なし)

支部会費(伊東・三島・沼津・富士・富士宮・志太・榛南支部 6,000円)

上記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。

なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。

納入代行会社は「三井住友カード株式会社」(IHSMBCファイナンスサービス)、通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされますのでご注意ください。

*会費は消費税法基本通達5-5-3に該当する科目のため、不課税となります。

課税仕入れにしないようお願いいたします。

*当会はインボイス発行事業者ではありません。

経営指針を創る会 大同窓会

30周年に向けて仲間とともに先人の想いを繋ぐ

2月7日(土) 会場:浮月楼



経営指針を創る会(以下、創る会)20周年を祝う大同窓会を開催。第1期から第22期までの受講生80名が参加し、歴代会長へのインタビューや様々な企画を通じて互いの成長や創る会への想いを語り合いました。

★第1期受講生で2代目創る会会長の奥谷卓史氏(株巴電業社・静岡支部)よりご感想を頂きました。

20周年の「大同窓会」おめでとうございます。多くの皆さんが参加され感動しました。松永節也氏の「静岡の若い人達を育てたい」という想いから「創る会」は始まりました。右も左もわからずに「宮城同友会の創る会」を手本に試行錯誤の状態ですスタートしました。皆さんの心の中には経営指針に対しての「熱い想い」と自分を変え、良い会社になろうとの「固い決意」が有りました。初めは小さな「創る会」でしたが5年たち、10年が過ぎ、20年を迎え静岡同友会の中心になってきたと感じます。携わった多くの修了生の皆さん、事務局や理事会の皆さんご苦労様でした。「歴史になる」10年後を目指しこれからもよろしくお祈りします。

奥谷 卓史氏(株巴電業社・静岡支部)